

平成30年5月27日
今週のベストショット



青松園B 三友クラブ 対 新町ウインズ戦

最終回二死から大逆転の三塁打を放つ新町ウインズ四番桐島司選手。

写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗

雁レク5 雁の巣ライナーズ4本塁打で快勝！

ソルトベイスターズ (3敗) 0000010 1 鶴野●一大門

雁の巣ライナーズ (1勝1敗) 001301× 5 有馬○-久留

HR：明瀬 (旭)、宇野、久留、中口 (雁の巣)

初回、ソルトベイスターズは野口選手がセンターへ弾き返し、いきなりチャンスを作るも後続が倒れ無得点。その裏雁ノ巣ライナーズも鶴野投手の前に三者凡退で無得点。その後も両投手の好投の中、膠着状態が続いていたが、三回裏にライナーズ明瀬 (旭) 選手の右中間を破る先制ソロHRが飛び出しライナーズベンチが盛り上がる。勢いのついたライナーズは、四回裏も相手失策から出塁すると宇野選手の左中間を破る2ランHRが飛び出す。3点を奪われたソルト鶴野投手は、ここでもう一度気を引き締め直し、二者連続三振を取るものの続く久留選手に強烈なライナーで三塁線を破られ、これがランニングHRとなり4点目を奪われてしまう。ソルトベイスターズも六回表に野口選手がこの日3本目となるヒットで出塁。続く酒井選手もレフト前へのヒットを重ね、一二塁のチャンスを作ると、ここで鶴野投手が自らしぶとく内野安打を放ち1点を返したが、ここまで。その裏、今日4本目となるHRをライナーズ中口選手に打たれ、試合が決まった。ソルト鶴野投手は6奪三振の好投を見せるも、HRで全ての得点を重ねたライナーズに軍配があがった。(記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里 一征)



一回裏 ショートゴロを軽快に処理する酒井選手。



二回裏 丁寧なプレーで貢献した森選手。



三回裏 右中間へ先制のソロHRを放った明瀬(旭)選手。



三回裏 明瀬(旭)選手を迎え入れるライナーズベンチ。



四回表 猛ダッシュでレフトフライを捕球する三船選手。



四回裏 左中間へ2ランHRを放つ宇野選手。



四回裏 強烈なライナーでホームラン久留選手。



六回表 アウトになるも果敢に攻める吉田選手。



六回表 今日猛打賞の野口選手。



六回表 意地のタイムリーを放つ鶴野選手。



六回裏 本塁打で突き放す中口選手。



1失点完投で勝利のライナース有馬投手。

青松園B ノーヒットからの逆転劇でウインズ勝利！

三友クラブ (3敗) 000200 2 足達●ー西田
 新町ウインズ (2勝) 00005X 5 早田、藤田○ー今林

3BH : 桐島 (新町ウ) 盗塁 : 永渕 (新町ウ)

三友クラブ足達投手、ウインズ早田投手で始まったこの試合。序盤は両チームヒットこそ出ないがフォアボールにバッテリー間のミスなどでチャンスを作るも両投手の好投であと一本が出ず、三回まで0を並べる。先制したのは三友クラブ。三回からリリーフした藤田投手から2本のヒットとフォアボールで満塁のチャンスを作る。このチャンスに九番松尾選手の打球はセカンドへのゴロ。無得点でチェンジかと思われたが、この打球をセカンドがファンブルし、これで焦ったか一塁へ悪送球でランナー二人が生還し、思わぬ形で先制する。しかしウインズはミスがあっても味方同士声をかけ合い、藤田投手のさすがの投球でこの回を2点で切り抜ける。反撃したいウインズだが、足達投手の見事な投球に四回までノーヒットに押さえ込まれる。時間もぎりぎりになっていた五回、簡単に二死を取られ、続く九番宮原選手の打球はキャッチャーの頭上へ。この回もノーヒットで終わるかと思われた。しかし、キャッチャーに西田選手がまさかの転倒で捕球できず、ファールとなる。ここからドラマが待っていた。助かった宮原選手がフォアボールで、続く打者もフォアボールでチャンスを作ると、二番安藤(一)選手がエラーを取り返す見事なセフティーバントでチーム初安打を放ち、二死満塁の大チャンスを作る。このチャンスに三番今林選手がしぶとくセンターの前に運び、二点タイムリー！同点に追いつく。こうなったら一気に流れはウインズ、四番桐島選手、五番藤田選手も続き、一挙5点を奪い逆転に成功する。最終回をきっちり守り、ウインズが開幕2連勝。敗れた三友クラブは痛い敗戦となった。(記事・記事：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗)



新町ウインズ先発の早田投手。



三友クラブ先発の足達投手。



三回からリリーフのウインズ藤田投手。



豪快なスイングのウインズ一番永瀬選手。



代打おれ！ヒットを放つ三友クラブ広瀬監督。



四回表に先制打を放った三友クラブ松尾選手。



転倒してしまった西田選手、ここから悪夢が始まる・・・



最終回二死からチーム初安打のウインズ安藤（一）選手。



同点タイムリーのウインズ三番 今林選手。



勝ち越し三塁打のウインズ四番 桐島選手。



健闘をたたえあう両チーム。

奈多グラウンド 昨年王者奈多クラブ敗れる！！三球会 原口選手 2安打4打点の大暴れ！

三苦三球会 (3勝) 000313 7 塚(達) - 藤澤

奈多クラブ (1勝1敗) 001022 5 今林(瑠) - 安河内

3BH : 半田、原口 (三球会) **2BH** : 馬場口 (奈多ク) **盗塁** : 大津 (三球会)

昨年度王者の奈多クラブと開幕2連勝と勢いに乗る三球会との注目の一戦。奈多クラブが今林(辰)監督もスタメン出場する厳しいメンバー構成で試合開始。一回表の三球会の攻撃は、一番藤澤選手がレフト前ヒット、二番濱口選手がセンター前ヒットといきなり無死一二塁のチャンスを作った。しかし、後続が三者凡退で先制のチャンスを逃す。一回裏の奈多クラブの攻撃は、一番今林賢人選手が四球で出塁。二番高瀬選手はライトフライで一死となるが三番今林瑠生選手が四球で一死一二塁のチャンス。しかし、四番、五番のクリーンアップが凡退して奈多クラブも同様にチャンスを生かせなかった。緊迫した投手戦が展開される中、均衡が破れたのは三回裏の奈多クラブの攻撃。一死後の二番高瀬選手が四球で出塁。続く三番今林瑠生選手の打球はショートのエラーを誘い一死一三塁の絶好のチャンスを作る。ここで四番馬場口選手がレフトに犠牲フライを放ち待望の1点を先制した。ピンチの後にチャンスあり。四回に三球会の反撃は始まる。四球を絡めて二死一二塁のチャンスを作る。七番松尾選手がセカンド内野安打で二死満塁の絶好機。続く八番原口選手がレフト前適時打と九番塚選手がセカンドのエラーを誘いこの回3点を取り逆転に成功。両投手の好投と攻守により4-3で三球会の1点リードとお互い譲らずに息詰まる好ゲーム展開。最終回の六回の攻防を迎える。六回の三球会の攻撃は六番上山選手、七番松尾選

手と連打で無死一二塁のチャンスに八番原口選手のセンターオーバーの三塁打で2点を追加した。さらに、一番藤澤選手のヒットでこの回3点を追加して7-3とした。このまますんなり終わると思いきや昨年度王者の底力を見せて2点を取り7-5と追い上げを見せるも反撃もここまで。今年の和白リーグはどこが優勝するか分からないと予感させる試合だった。(記事：和白新町パイレーツ 田村 正博、写真：牟田 繁)



殊勲の三苦三球会先発の塚達也投手。



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



初回、先頭打者でいきなりヒットを放つ藤澤選手。



五回裏、反撃のタイムリーを放つ奈多クラブ馬場口選手。



六回表、中越え三塁打を打ち全身で喜びを表現をする本日のヒーロー三球会原口選手。



六回表、藤澤選手のこの日三本目のヒットでホームを踏む原口選手。



昨年の王者奈多クラブを打ち破った三球会。お見事でした。

青松園A ムードメーカー大活躍により快勝！

レッドサンデーズ（2勝0敗）001320 6 塚本○、土師一八島

奈多サンデーズ（1勝2敗）000001 1 砂場●、江口ー野々下

2BH：八島（レッド）**盗塁**：川原2、田浦、前田、土師（レッド）江口（奈多サ）

優勝常連チームの奈多サンデーズ黄金時代を支えた八島監督率いるレッドサンデーズ対田中俊弘監督率いる奈多サンデーズの一戦だったが、今回は田中俊弘監督不在により采配は富安監督代行にて試合開始となった。先発はレッド塚本投手、サンデーズは若手の砂場投手。一回表のレッドの攻撃は、砂場投手の前に二者三振を含む三者凡退に抑えられた。一方のサンデーズは、塚本投手より二本の内野安打を絡めるが得点ならず。先制点は三回表レッドの攻撃、先頭打者の九番八島選手兼監督が技ありセンター前ヒットで出塁しWP等で三塁まで進むと、ここで迎えたムードメーカーの一人、二番古賀選手がレフトへの犠牲フライを放ち先制。続く四回表、安定したピッチングを続けていた砂場投手が、2四球、4WP、エラーに八島選手のタイムリーなどで3点を献上し、一挙にレッドペースとなった。続く五回表にも、レッドのベテランムードメーカーである六番前田選手が右中間へ2点タイムリーを放ち、点差を6点に広げる。このままでは終われないサンデーズは無得点のまま最終回、代わったレッド土師投手から一番江口選手がこの日2本目の内野安打。二者が倒れた後、五番近藤選手がレフト前タイムリーで完封を消す1点を取るが後続続かずゲームセット。序盤は両投手の投げ合いかと思われたが、レッドのムードメーカー前田選手が、守っては笑いを取る危なげなファースト守備！打っては2エラーとタイムリーヒットを含む3打席全出塁とチームの勝ちを呼び寄せる前田劇場を展開した！一方、投げてはベテラン塚本投手が、打者のタイミングを外す、ムービングボールなる流れるようなボールにて的を絞らせない無得点ピッチングを披露した。また両チームとも苦戦していたのが、今シーズンから導入されたバッターボックスから出てはいけないというルールであった。特に癖のある選手はバッターボックスからでていたプレーがかなり見受けられたが、審判の注意もあり何とかカウントはとられていなかった。しかしながら次回以降はさらに厳しくなっていくので、今の内から対策を練っておくべきだと感じた試合だった。（記事・写真：ブルーマーリンズ 末松 勝祝）



サンデーズマッチ、試合開始の挨拶。



三回表、先制につながる九番八島選手の中前ヒット！



三回表、レッド二番古賀選手の先制犠牲フライ！



三回裏、レッド前田一塁手が足を懸命に伸ばしてアウト！



四回表、本日の2安打目はタイムリーの八島選手。



四回表、ホームタッチアウトのレッド土師選手！



五回表、レッド四番神田選手にも送りバントが・・・



本日のムードメーカー前田選手の2点タイムリーを呼ぶ！



六回裏、反撃の内野安打を放つサンデーズ江口選手！



六回裏、完封阻止の一打、サンデーズ近藤選手！



レッドサンデーズ本日のヒーロー、ムードメーカー前田選手（左）、五回を完封ピッチングの塚本投手（中）、2安打と好リードの八島監督兼選手（右）。

第5週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

5月27日は晴天の中、4試合が行われました。

雁レク5のソルトベ이스ターズ対雁の巣ライナーズ戦は、ライナーズが4HR（明瀬旭、宇野、久留、中口選手）ですべての得点を入れると、投げては有馬投手がソルト打線を5安打1失点に抑え、1-5でライナーズの勝利。敗れたもののソルト二番野口選手は3打数3安打と一人気を吐いた。

青松園Bの三友クラブ対新町ウインズ戦は、ウインズ早田、藤田の投手リレーで2失点に抑えて反撃を待つが、三友クラブ足達投手が五回二死まで無安打無失点ピッチングを披露。しかしキャッチャーフライのエラーから一転、ウインズ怒濤の大逆転劇。昨年5試合をサヨナラで勝利した後半の勝負強さを発揮し、2-5でウインズの勝利。中でもウインズ四番桐島選手の勝負強さは今年も健在だ。

奈多グラウンドの三苦三球会对奈多クラブ戦は、昨年王者奈多クラブが先制こそするが、四回表に三球会が3点を取り逆転すると、絶えず主導権を握り逆転を許さない。奈多クラブの剛腕・今林瑠生投手を打ち崩し7得点。投げてはエース吉留投手ではなく堺達也投手が一人で投げ抜き7-5で三球会の勝利。大金星を挙げるとともに開幕三連勝と絶好調だ。

青松園Aのレッドサンデーズ対奈多サンデーズ戦は、九番に入ったかつてのサンデーズ四番、現在レッド八島監督兼選手が奈多サンデーズの若手砂場投手から貫録の2安打を放つと、足を絡めた攻撃でマウンドから引きずり降ろす。代った江口投手からレッド六番前田選手が技ありの2点タイムリーを放ち勝負あり。最終回完封ペースのレッド塚本投手に代った土師投手が失点するも二年連続でサンデーズマッチをレッドが制した。

今年のWSLは、どのチームもまだ2~3試合ながら混沌としてきました。

ベストメンバーが揃わない中での試合運びは監督、バッテリーの手腕にかかってきますね。